

令和5年度第1回東海市産業推進会議 会議録

1 日 時 令和5年（2023年）8月28日（月）

午後3時から午後4時10分まで

2 場 所 東海市役所 501会議室（5階）

3 出席者

(1) 委員（敬称略）

野村 淳一、浅井 良隆、下村 一夫、加藤 剛、野口 剛規、鈴木 利泰

(2) 事務局 小笠原 環境経済部長、池田 商工労政課長

芦原 商工労政課主幹兼統括主任、伊藤 商工労政課主事

4 議 題 別紙次第のとおり

5 公開、非公開の別 公開

6 傍聴者の数 0人

7 会議内容

(1) あいさつ【次第 1】

小笠原環境経済部長からあいさつを行った。

(2) 自己紹介【次第 2】

委員・事務局の順に自己紹介を行った。

(3) 議題

ア 産業振興ビジョンについて【3-(1)】

事務局から資料に基づき、説明を行った。

イ 施策評価シートについて【3-(2)】

事務局から資料に基づき、説明を行い、その後、質疑応答を行った。

野口委員： 推進項目1の指標2と指標3のデータが取得できなくなっているが、今回の中間評価で見直しをしないのか。

事務局： 産業振興ビジョンは中間評価の年での見直しを定めておらず、10年間はこの指標で進行管理をすることになっている。

一方で、補足できる指標を探しているが、現状見つかっていないため資料のような記載となっている。

野村議長： データが取得できない状態が続くとこの先の評価も難しくなることが考えられる。事業者の声など、数値以外のもので補足していてもいいのではないか。

事務局： 新型コロナウイルス感染症の影響が減少したため、製造業を中心に企業訪問を再開している。来年度以降、集約して紹介することを検討する。

浅井委員： 東海市の地域特産物としてフキがあるが、指標には担い手の減少や高齢化により出荷額が減少したと記載があるが、今後の対策などはどのように考えているか。

加藤委員： フキについては、担い手の減少や高齢化だけでなく、資材コストが高いといった問題があり、農協では市からの補助金などを活用しながら、出荷時の負荷軽減に努めている。

野口委員： 地域特産物については、農産物に限らず、市が実施しているふるさと納税などの実績も参考になるのではないか。

事務局： 来年度以降、参考資料として整理することを検討する。

鈴木委員： 各推進項目の4主な取り組みに記載されるような内容についても、目標値を定めて実施することで評価につながるのではないか。

野村議長： 各推進項目の4主な取り組みについては、取り組み内容と目標値を定めて実施していくものではなく、毎年取り組み内容を組み替えることを想定してフレキシブルにしたものである。

浅井委員： 推進項目3について、ワークライフバランスの推進が施策にあるが、厚生労働省が女性の活躍推進企業データベースというものを公表しており参考になるのではないか。

また、推進項目4について、現在は観光資源を生かした観光推進を行っていると思うが、産業観光についても着目してはどうか。

事務局： 企業訪問をした事業者の中にも、積極的に工場見学などを行い地域貢献したいと考えておられる事業者もある。

下村副議長： 企業の工場見学については、産業観光の側面だけでなく、企業を知ってもらい、将来は就職してもらうことを目的とした雇用促進の側面も考えられる。

野村議長： 創業者数が昨年度に引き続き増加しているが、業種ごとの集計はとっているか。

事務局： 細かい業種ごと集計は把握していない。印象としては、飲食店やサロンが多い印象である。

浅井委員： 創業相談を受けている中では、飲食店よりは女性からのエステなど美容系の相談が多い。

鈴木委員： ホテルの宿泊者数が増加しているが、市内事業所で行われている大規模工事の工事関係者なども影響しているか。

事務局： 宿泊者数は観光を目的とした宿泊者だけでなく、ビジネス客も含まれており、増加の要因となっている。

(4) その他【次第 4】

特になし